

地震工学会

津波等の突発大災害からの避難における諸課題に対する工学的検討手法およびその活用に関する研究委員会

第4回研究委員会 議事録（案）

1. 日 時：2016年12月28日（金） 16：30～18：30
2. 場 所：スター貸会議室 お茶の水駅前
3. 出席者：生田、甲斐、久保、後藤、小山（H）、仲村、村上（H）、山本（敬称略）
4. 資 料：
 - 資料 4-1 第4回研究委員会 議事次第
 - 資料 4-2 第3回研究委員会 議事録（案）
 - 資料 4-3 津波避難調査の文献リスト
 - 資料 4-4-1 佐藤委員からの中土佐町の活動報告メール
 - 資料 4-4-2 中土佐町での「平成28年度「県内一斉避難訓練」アンケート調査」票
 - 資料 4-4-3 有川委員からの「避難訓練を用いた非難課題の抽出」
 - 資料 4-5 津波避難予算（案）
5. 議事内容：
 - 5.1 第3回研究会議事録の確認
 - ・ 第3回研究会議事録（案）が承認された。
 - ・ 甲斐委員長から申請中の鹿島財団の状況について報告があり、現在審査中で3月に結果の連絡がある。無事審査を通過すると2017年4月から予算が利用できるようになる。
 - 5.2 津波避難調査の文献整理について
 - ・ 文献整理に協力いただけそうな方で再割り当てを行い、進める。
 - ・ リストにある論文中で引用している論文についても、本リストに追加して調査を深める。なお、海外の論文も引用されていれば、ひとまずリストアップはする。
 - ・ 筑波大学糸井川先生のところの学生さんが、今年の地域安全学会で津波避難に関する文献調査を行った発表をされており、その梗概を生田先生から共有いただく。
 - ・ 文献整理した結果を今後地震工学会での発表や委員会のホームページに挙げることを目指す。
 - 5.3 中土佐町における活動報告
 - ・ 12/18に行われた中土佐町での津波避難訓練について、資料4-4-1と甲斐委員長から報告がなされた。
 - ・ 避難タワーに避難した住民は、それぞれ100名程度であった。全体で800名程度が参加したのではないかと。
 - ・ 住民は手ぶらで避難していたようだ。
 - ・ 持ち出し袋はしまっていて、訓練のときに出しているようだった。
 - ・ 自覚を促す為に、避難のときにライフジャケットを着て避難するのも良いのではないかと。

- ・ 避難タワーは日頃から利用できるようになっており、観光客なども登っている。また、平時は散歩やジョギングにも活用されている。
- ・ 避難時に住民は、道路ではない小さいあぜ道などを使って避難していた。
- ・ 小さいあぜ道などを使った避難を想定した避難シミュレーションは行っていない。現在シミュレーションでは 4m 以上の道路を利用している。
- ・ 高知県が危険なブロック塀の撤去に補助金を出しているが、その後塀を作ろうとした場合、幅員の確保などの為に塀が作れない課題が生じている。
- ・ 有川委員がスマホの GPS 端末を使って避難者の行動を収集した。
- ・ 村上委員から愛知県でブロック塀の調査を行い、避難経路の妨げになる課題を把握していると報告があった。
- ・ 津波避難時における避難の障害となるもの(ブロック塀、液状化など)も検討していく必要がある。また、地域の実態に沿った調査が必要である。
- ・ 委員会としては、中土佐町の訓練に参加し、課題を見つけ出すなどの協力のあり方で関係を作っていくことがよいのではないかと。
- ・ 2017/3/18 の夜間避難訓練については 2 つの小学校区を対象にして実施予定。詳しい内容は不明。
- ・ 地震工学会として、耐震診断などの面で協力出来る可能性はあるが、中土佐町の現状もあるので、上手にコミュニケーションをとりながら委員会としての貢献を検討していく。
- ・ 高知大学の原先生が微動などの計測を行っており、中土佐町の活動について、原先生に甲斐先生から声をかけてみる。
- ・ アンケート調査票について、性別や家庭での役割などの記載があったほうがよい。
- ・ 高齢者が多いと、家族の中で支援の必要な人を連れて逃げる人が決まってくるのではないかと。
- ・ 「避難準備情報」や「要援護者」など用語について、使う側と受ける側で認識がなされていないと伝わらない。
- ・ 設問 6 の熊本地震以降に関する内容は、委員会で追加したものか自治体が追加したものか確認する。次回からは熊本地震以前からも準備していたことなどが分かるような設問形式にする必要がある。
- ・ 委員会として、津波避難に関するアンケート調査票のフォーマットを作って、他の地域などでも同じような調査が出来るようにする。
- ・ 上記と同様に災害時における避難の実態調査についてもアンケートフォーマットの作成を検討する。

5.4 今年度の予算について

- ・ 甲斐委員長より、資料 4-5 に基づき今年度予算案の提案があり、了承された。
- ・ 現在中土佐町へ出張費について 2 名分を計上してあり、どなたか希望があれば利用できるようにしている。
- ・ 村上委員から今年度の訓練見学は難しいが、来年度はブロック塀の調査もかねて中土佐町に伺いたいと考えており、来年度は予算を利用したいとコメントがあった。

5.5 その他

- ・ 次回は、4 月以降に行う。そのため日程調整を 3 月上旬に実施する。